

## 農業経済学特論演習Ⅱ (2単位)

担当者氏名 野口 敬夫

### ◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

農業貿易の自由化が進むなかでの日本の農業問題、食料安全保障問題及び食品安全問題等を論ずるとともに、フィールド調査の手法を学ぶ。本講義の到達目標は、日本の農業・食料が抱える多様な問題への深い理解を得ることである。また、各回のテーマを通じて、資料作成方法やプレゼンテーション能力、ディスカッション能力、調査能力の向上を図る。

### ◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

農業問題                      食料安全保障問題                      食品安全問題                      農業政策  
アグリビジネス                      系統農協                      フィールド調査

### ◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	ガイダンス	本講義の狙いに関する解説	授業では各回のテーマごとに受講者が資料作成及びプレゼンテーションを行う。予習としてはテキストの各回のテーマ部分を読んでくること。また、プレゼンテーション資料の作成を行ってもらおう。復習としてはプレゼン資料とテキストを見直すこと。 予習・復習に、1時間～2時間程度の時間を確保すること。
2	日本の農業問題	日本農業の動向と課題	
3	食料安全保障問題	日本の食料安定供給の課題	
4	食品安全問題	日本の食品安全性確保における課題	
5	日本の農業政策	日本の農業政策の展開と現状	
6	日本の穀物需給	日本の穀物需給の歴史と現状	
7	日本の畜産物需給	日本の畜産物需給の歴史と現状	
8	アグリビジネスの展開①	日本のアグリビジネスの事業展開	
9	アグリビジネスの展開②	アグリビジネスの事例把握	
10	系統農協の展開①	系統農協の組織概要	
11	系統農協の展開②	系統農協の地域的取組み	
12	現地調査の設計	テーマ設定と調査準備	
13	フィールド調査	テーマに関連した調査の実施	
14	調査の報告	調査結果の取り纏めと報告	
15	総括	これまでの講義内容の総括	

### ◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)  
農業・食料問題入門／田代洋一／大月書店

### ◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)  
各回のテーマに応じて授業中に紹介する。

### ◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト)

レポート：50%、授業中の発表：50%

### ◆オフィスアワー

毎週金曜日の5限に研究室で質問等を受け付ける。

### ◆その他受講上の注意事項

講義のディスカッションでは積極的な発言して頂きたい。